

男女共同参画学協会連絡会

第4回 科学技術系専門職の 男女共同参画実態調査 (大規模アンケート)解析の概要

概要

男女共同参画学協会連絡会は、科学技術系専門職の分野における男女共同参画の実態に関し、概ね4年ごとに大規模アンケート調査を実施。政府への提言要望などに活用。

- ◆ 2003年に第一回調査を行い、2016年で4回目
- ◆ 調査対象：連絡会の参加学協会（約96団体）会員（のべ 50 万人）
- ◆ 調査期間：2016年10月8日から11月7日
- ◆ 解析報告書：2017年8月に公表
- ◆ 回答数：18,159（男性13,162人、女性4,997人）
- ◆ 回答者女性比率は28%

報告書 連絡会ホームページ

<http://www.djrenrakukai.org/enquete.html>

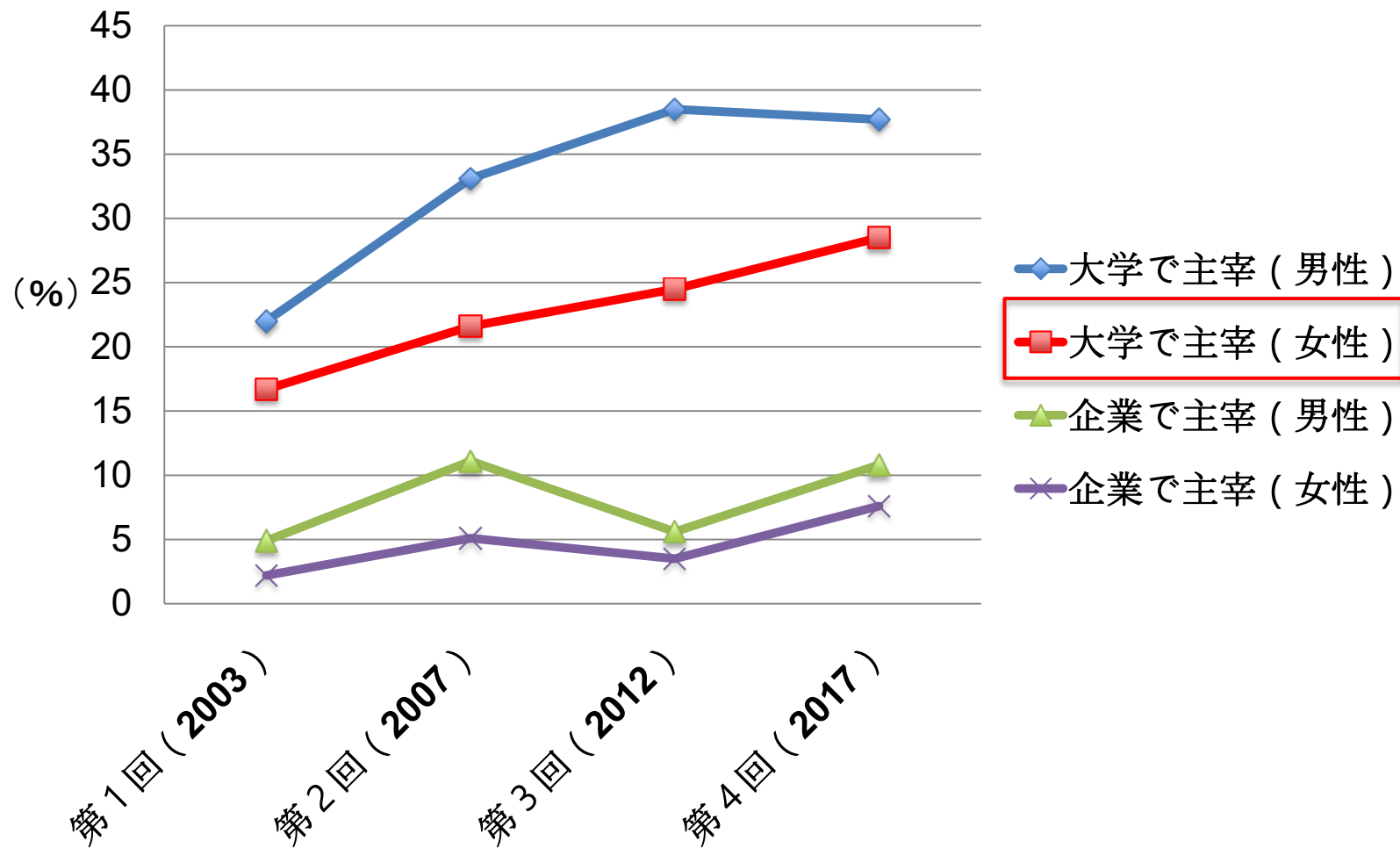
理工系女性研究者／技術者の意識の変遷

(2003--2016) および 第4回解析報告書から抜粋

1. 第1回大規模アンケート報告書 図2.37
2. 第2回大規模アンケート報告書 図1.36
3. 第3回大規模アンケート報告書 図1.56
4. 第4回大規模アンケート報告書 図1.52

日刊工業新聞 2018年2月17日に「理工系研究者・技術者のうち「大学・研究機関で研究室やチームを主宰したい」と考える女性はこの13年間にコンスタントに増え続けている」傾向がとりあげられた。

研究室やチームを主宰したい

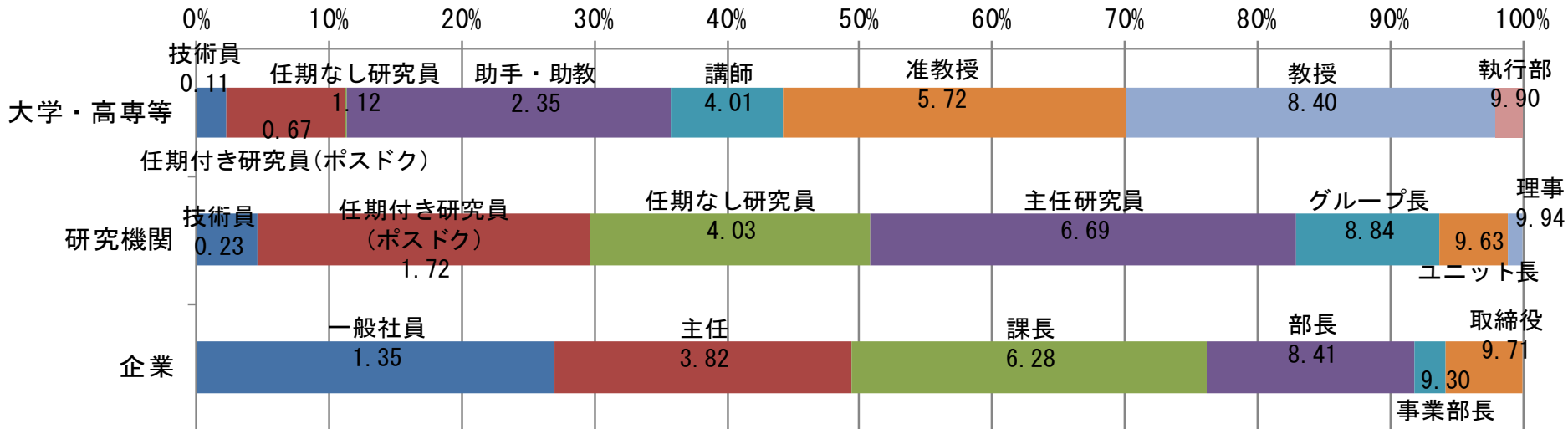


- ・リーダーになりたい女性研究者は増加の一途
- ・明らかに変わる女性研究者の意識

役職の年齢推移

役職指数

役職の低い方から高い方へ、役職に0から10までの範囲の重みを乗じて求めた平均値を役職指数と定める。

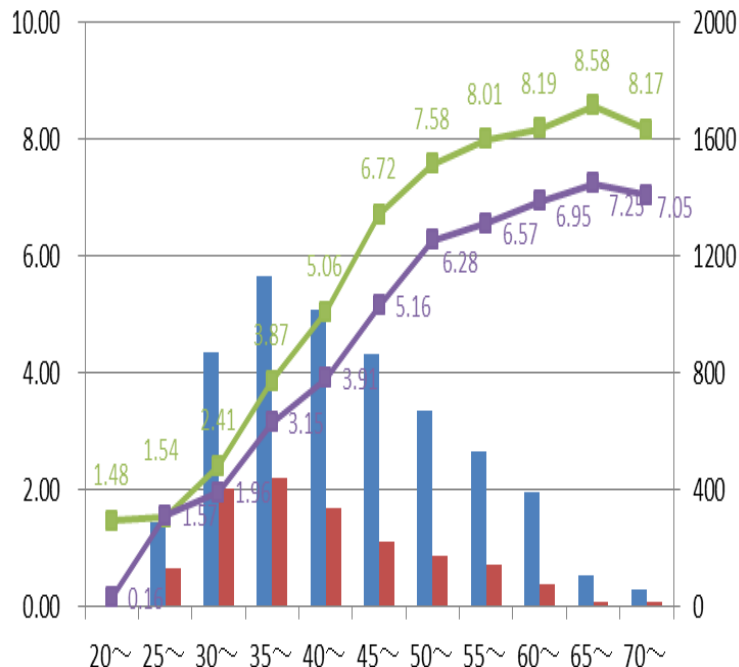


- 大学・高専等** ■ 技術員 ■ 任期付研究員 ■ 任期なし研究員・助手・助教 ■ 講師 ■ 准教授 ■ 教授 ■ 執行部
研究機関 ■ 技術員 ■ 任期付研究員 ■ 任期なし研究員 ■ 主任研究員 ■ グループ長 ■ ユニット長 ■ 理事
企業 ■ 一般社員 ■ 主任 ■ 課長 ■ 部長 ■ 事業部長 ■ 取締役

役職の年齢推移と男女差

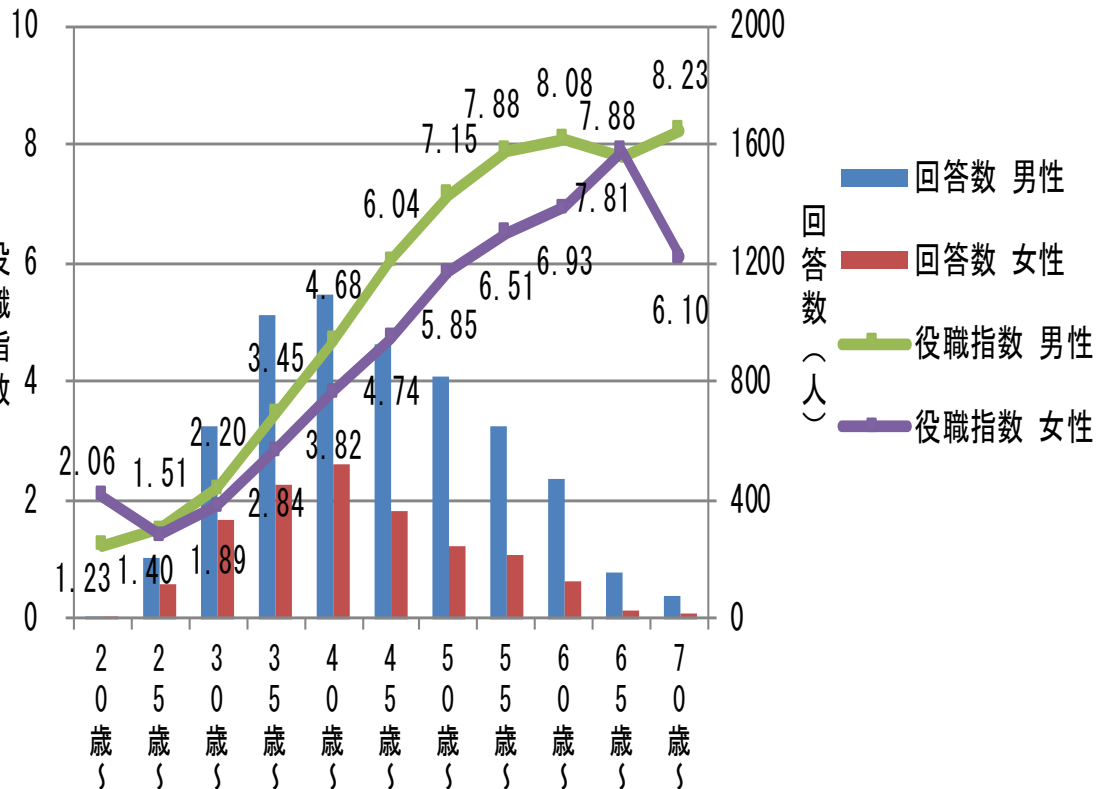
前回調査

大学



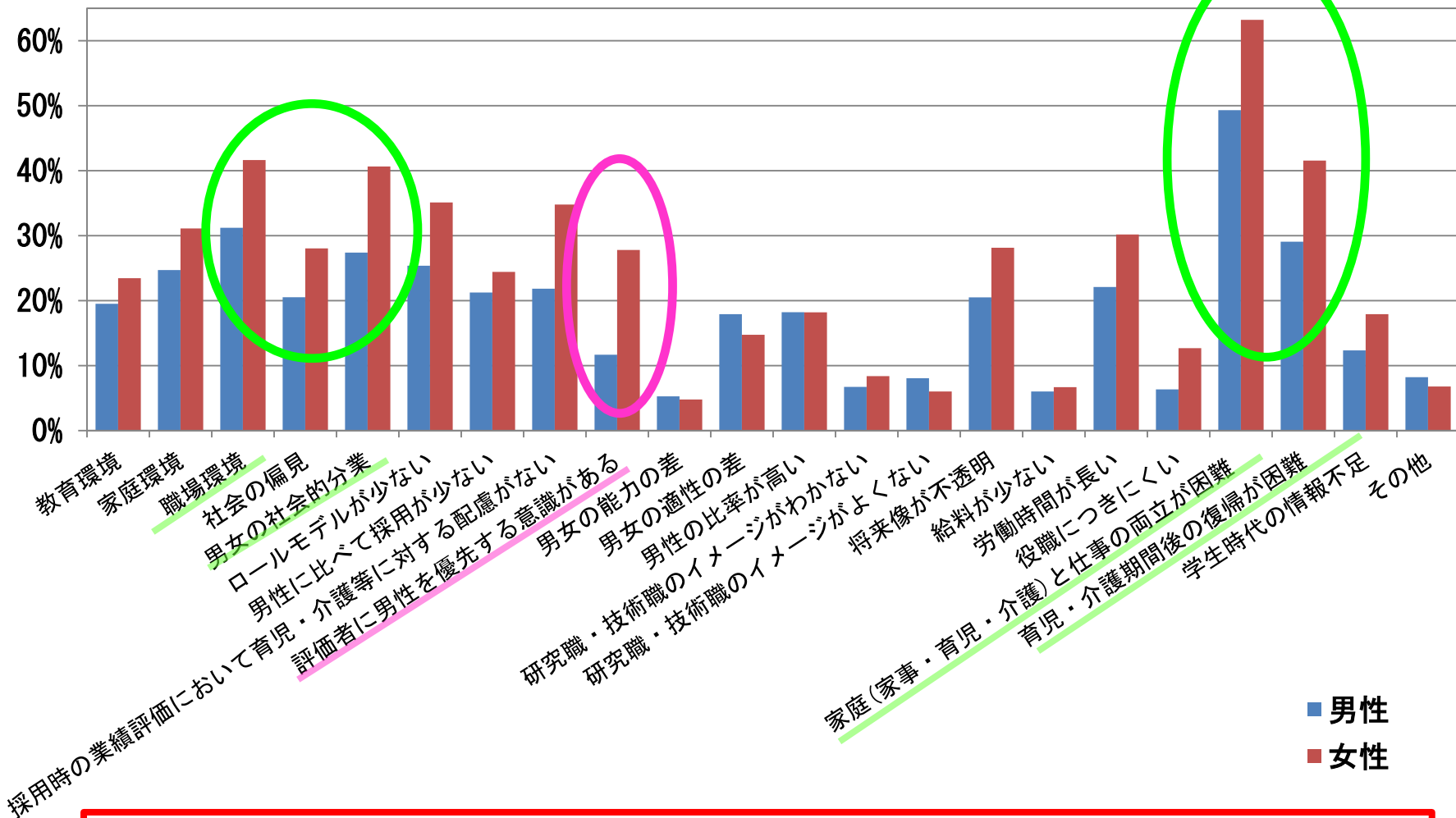
今回調査

年齢別の役職指数 (大学・高専等) (単数回答)



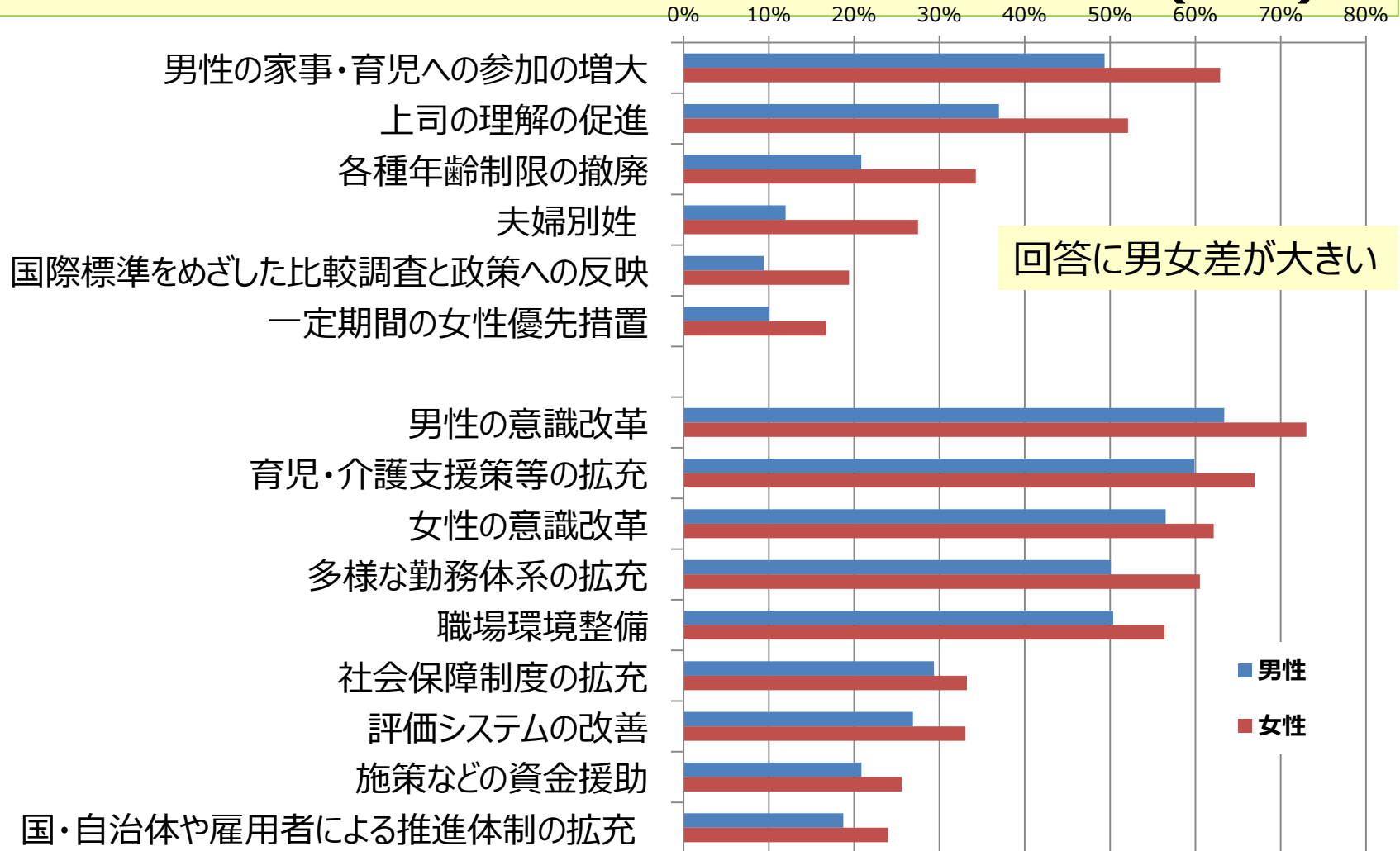
- ・これまでと同様，指数の男女差が存在する。
- ・女性は男性より昇進が10年遅れる。
- ・30-50歳代で年齢ごとの役職指数は低下。

女性研究者が少ない理由



- ・両立が困難，復帰が困難，職場環境など，男女ともに家庭生活で女性の負担が大きいことを認識。
- ・女性は無意識のバイアスを感じている。

男女共同参画のために今後必要なこと(抜粋)



「優遇措置」「年齢制限の撤廃」「国際比較調査」

→ 効果的な先行例を知る者が選択している可能性。

「意識改革」「環境整備」 → 社会全体で改革が必要。

仕事と家庭を両立するために必要なこと(抜粋)



研究者・技術者として働くうえで、子どもを持つ女性は男性以上に困難を感じている。回答に男女差が大きい箇所にマーク。

● **男女共同参画学協会連絡会**

<http://www.djrenrakukai.org/>

● **第4回大規模アンケート解析結果**

<http://www.djrenrakukai.org/enquete.html#enq2016>

● **無意識のバイアス—Unconscious Bias—を知っていますか？**

<http://www.djrenrakukai.org/shiryoku.html#shiryoku20170818>